



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行

インターネットでも
ご覧いただけます。

小中学校の 学級費撤廃

20年来、日本共産党が一貫して要求してきた小・中学校での学級費負担がようやく撤廃となりました。

何回もの共産党市議団の一般質問や他会派議員の質問も重なり、実現しました。予算額は約300万円。これで、他市並みに義務教育での少なくとも消耗品などの父母負担は軽減されます。



満開

磯原の市街地を流れる花園川の桜が見ごろを迎えています。この桜は、1994年3月に消防本部発足25周年を記念して、兩岸の堤防沿い約700mに200本ほどが植樹されたもの。朝夕の散歩コースとして利用している市民は「毎年、成長している桜を楽しみにしてきました。あと10年

もしたら、すばらしい桜並木になるのでは」と話しています。

日本共産党市議団は「以前から花園川や大北川に桜を植えるなどして、市民の『憩いの場』にするよう提案してきましたが、今後は清流を守りよりいっそう市民に親しまれる川になるよう働きかけていきたい」と語っています。

市立病院でコンサート

南米の香り漂うアルパの調べ

4月8日、北茨城市立総合病院のリハビリ室で中南米音楽のコンサートが開かれました。ハーブの一種で「アルパ」とよばれる民族楽器の演奏で、いつとき白い病室は華やい

だ空間となりました。

コンサートは、最近着任された長瀬医師の発案で、病院関係者による実行委員会が主催しました。入院患者や病院職員をはじめ地域の方たちで会場のリハビリ室はいっぱい。

アルパ奏者のルシア塩満さんは、昨年プロデビュー30周年を迎えた一流の演奏者です。若いころに入院したことがあり、そのときの

演奏を聴いていた患者さんが踊り出す一幕もあり、音楽の持つ力を感じました。音楽療法というものが注目されてもいます。市として何らかの助成を検討してもよいのではないのでしょうか。



病院の看護師さんも出演。患者さんが踊り出す一幕も。

クリスマスキャロルの強い印象が病院コンサートを始めたきっかけであることなどにふれながら、「この演奏のエネルギーで一日も早い退院を願っています」と話されました。

なじみの深い「コーヒールンバ」や「花祭り」なども演奏され、力強く軽快なラテンのリズムに観客の手拍子も入ります。日本の琴や尺八にも似た楽器編成で、日本の曲も演奏され、100名を超えた観客はその素朴な音色に魅了されま

4月1日付の新人事で、収入役は任期満了につき退任となりました。人口10万人以下の自治体では収入役のポストを選挙でできる、あるいは助役が兼任できるとする自治法改正が04年度にあり、また07年度には副市長のポストの明文化が検討されているとのこと。本市では当面空席のまま据え置くとして

人事

市長公室長	大森廣幸(新)
総務部長	根本一寿(新)
市民福祉部長	駒木根宗雄
環境産業部長	高久利夫
都市建設部長	村田公男(新)
水道部長	矢吹芳和(新)
議会事務局長	村田滋芳(新)
教育次長	坂井和彦(新)
病院事務部長	駒橋源四郎(新)
消防長	仲田寛之(新)
福祉事務所長	松下長一(新)
北茨城市立病院長	桜井淳一(新)
副院長	宮元敬長(新)

今年度からの市の主な新人事は左表のとおりです。(敬称略)